

平成 28 年 1 月 20 日

一関市長 勝部 修 様

一関市議会議長 千葉 大作

市民と議員の懇談会に基づく提言について

市議会では、今回で 5 回目となる『市民と議員の懇談会』を 11 月に開催し、既に一般市民を対象にした提言は、昨年、12 月 18 日に行いました。

今回は、市内 9 校の高校生との懇談結果を基に、提言致します。

ご承知のように、今年から 18 歳に選挙権が引き下げられましたが、何よりも市の将来を担う若い方々の意見等を市政に反映することを目的に初めて実施しました。

若い感性で様々な建設的な意見を頂戴いたしましたので、これらの意見を今後の市政運営に反映して頂きたく、議会運営委員会を中心に協議し、次の項目にまとめ、提言致します。

市当局におかれましては、高校生の願いを真摯に受けとめて頂き、その実現に向けて意を配し、市政運営を行われるよう念願するものであります。

記

- ① 若者が住みたくなるまちの実現を目指すことが、人口減少対策の最大の施策であること。
- ② 交通インフラ、防犯灯の整備等通学環境の整備を行うこと。
- ③ 多種多様な雇用の場があることが、地元定着に促進されることから、近隣の自治体との連携のもと、若者の就労環境の整備を図ること。
- ④ I L C には、大きな期待がある反面、デメリット等含めた学習の機会を設けること。
- ⑤ 奨学金の増額や拡大を図り、経済面からの学習環境の整備を図ること。
- ⑥ 選挙権の付与に伴う、政治を学ぶ機会を創設されたい。

高校生との懇談

【選挙制度】－6

- (1)政治の仕組みが判らない。(工業、修高)
- (2)18歳が投票する制度の意義は何か。(工業)
- (3)このような事を学校で出前講座を。(一高、学院)
- (4)政治を学べる機会を。(花泉)
- (5)選挙権の引き下げよりも、現在の大人の投票率向上を。(千厩)
- (6)選挙の周知としてSNSの活用を。(千厩)

【生活】－53

- (1)介護の制度改正で、入所基準が変更になり、困っている人が増加しないか。
(工業)
- (2)人口減少にどのような対策を講じるのか。(工業)
- (3)修学旅行で感じたが、一関の良さを他と比べ実感。イベントも多くあるが、
若者参加型を。(工業)
- (4)交通インフラの整備を。通学が困難な状況。(工業)
- (5)メタボ減少の具体的対策は。(工業)
- (6)一関の良い点は。(工業、学院、大東)
 - ・各地域のイベント
 - ・恵まれた自然
 - ・人と人のつながり
 - ・地の利
 - ・農業適地
 - ・スポーツ環境
- (7)核となる施設がない。あっても分散している。不便。(一高)
- (8)合併して10年経過するが、一関市民としての意識が薄い。エリアも良く判
らない。多くの市民が参加するイベントを郊外でも。雇用の場の確保。交通
インフラの充実を。(一高)
- (9)駅からのアクセスが悪い。100円バスを。(一高)
- (10)休日に若者が集まる場所を。職場+住みたいと思うまち。娯楽施設が欲しい。
(一高、高専)
- (11)大東町時代は第3子の誕生で20万円の祝い金制度あり。各種のアンケート

- を取っているが、その後のフォローがない。(一高)
- (12) 子どもを3人もつ家庭は経済的に裕福でないか。20万円もらうためだけで、3人目ではないのでないか？(一高)
- (13) 各地の文化財を周遊する交通インフラを。(一高)
- (14) イベントの集客は一過性。イベント重視でなく根本的なことを。(一高)
- (15) 多くのイベントを開催し、集客を。(二高)
- (16) 一関の強みのアピールを。大船渡線は観光客が多い。駅前の活性化を。(一高、二高、高専、修高)
- (17) 高校の授業料免除を。(一高)
- (18) 地域により人のつながりに濃淡ある。(一高)
- (19) 少人数教育に不安。学校などの枠を超えた取り組みを。(一高)
- (20) 通学時の安全対策として防犯灯整備を。また、運転のマナーが悪い。取締強化を(二高、高専、修高、千厩)
- (21) 環境重視のまちづくりを。(二高)
- (22) 高齢者の買い物難民対策を。(二高)
- (23) 伝統・文化で地域の活性化、イベントにもなる。(二高、修高)
- (24) 高齢者・障がい者を対象としたイベントを。(二高)
- (25) 交通インフラなど地域格差がある。公共施設利用料の高校生への減免措置を。(二高、千厩、大東)
- (26) 医療機関の充実を。(二高)
- (27) 駅前の工事の塀が死角になる。改善を。(二高)
- (28) 通学路の黒沢、脇田郷地内の市道路面の改善を。(高専)
- (29) 一関大橋の歩道整備。(工事側の歩道幅)(高専)
- (30) I L Cについて、理解醸成の促進強化を。また、メリットだけでなく、デメリットもあると思う。(高専)
- (31) 除雪対策を万全に。(高専)
- (32) 図書館が整備され、大いに利用している。休館しない工夫を。(高専)
- (33) 国外に向けて周辺自治体と連携し発信を。(高専)
- (34) 消防に化学火災や災害に対する専門家が必要。(高専)
- (35) 駅の東西自由通路を。(高専)
- (36) 市民センターの活用がまちづくりで重要。高齢者の呼び込みを。(花泉)
- (37) 花泉のボタン園は有力な観光資源。アニメを活用して活気づけたい。また、ハロウィンも有力なイベントか。(花泉)
- (38) 花泉高校存続のためには、特色ある教育が必要。(花泉)
- (39) また、地域の行事に参加している。高校がなくなれば、地域の衰退。(花泉)
- (40) オープンスクールに大勢きてくれた。(花泉)

- (41) 宮城の中学校では、花泉高校の存在が判らない。(花泉)
- (42) 学校統合で地域が衰退しない施策を。(修高)
- (43) 文化センターの駐車場の増設を。(修高)
- (44) 市内の主要な場所にゴミ箱の設置を。(修高)
- (45) 市内で私学関係のイベントを開催し、多くの参加があった。このような若者が参加するイベントで活性化を。(修高、学院)
- (46) 奨学金の増額を。(千厩)
- (47) 国は地方の時代と述べているが、一関市の発信が弱いのでは。(千厩)
- (48) ふるさと納税の返礼品に餅や南岩手牛など市の特産品を活用すべき。(千厩)
- (49) 北海道新幹線開業のチャンスを活かした振興策を。(千厩)
- (50) 高齢化なのに介護報酬が上がらないのは疑問。(千厩)
- (51) 生活的には便利ではないが、近所との関わりがあることはよい点。(大東)
- (52) I L C が実現する前のまちづくりに目をやること。(大東)
- (53) 介護で市民が悩んでいる。支援を。(大東)

【就労】－10

- (1) 若者が都市部に流出するのは、仕事や娯楽が魅力。市内にも若者対象の娯楽の場を。(工業、学院)
- (2) 都市部に流出した人を戻るきっかけを。他の自治体との連携した取り組みを(工業)
- (3) 都市部の流出はやむを得ない。地元の良さで戻るように施策が大事。(一高)
- (4) 子どもを大切にすれば、そのような地域に戻る。職場体験等の工夫を。(一高)
- (5) これからは、介護人材確保が心配。(一高、高専)
- (6) 企業誘致(工業団地)の開発時の緑地に配慮を。(高専)
- (7) 働く場が欲しい。地域の空き店舗活用し、福祉関係の仕事がしたい。(花泉)
- (8) 一関で働くためには、所得向上と多様な職場が必要。(花泉、修高)
- (9) 保育士として地元で就職希望。所得向上や自然を活かした保育を(千厩)
- (10) 育児休暇などの制度を整備することで、地元への定着になる。(学院)